

1 冬道運転テクニック

出典：「冬道安心ガイド」 (財)北海道道路管理技術センター

基礎編

●坂道走行



上り坂

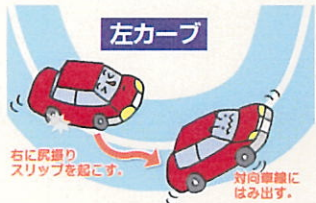
上り坂では、あらかじめ適切なギヤにシフトダウンをし、アクセルを一定に、前車との距離を十分にとります。



下り坂

下り坂では、事前に減速、シフトダウンしてエンジンブレーキを効かせます。車の重心が前へ移動し後輪が軽くなるので急激なブレーキやシフトダウンをすると尻振りを招きます。

●カーブ走行



左カーブ



右カーブ

カーブ手前で十分に減速し、控えめな速度を一定に保って走行。左カーブでは、右に尻振りスリップを起こし、対向車線へはみ出しやすいことに注意。右カーブでは、左に尻振りスリップを起こし、路外に逸脱しやすいことに注意。

●ブレーキング



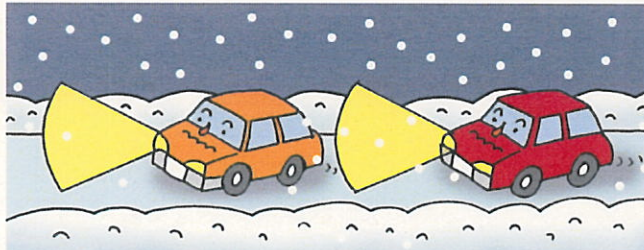
急ブレーキをかけるとタイヤがロックしてグリップを失い止まれません。ブレーキはソフトにじわっと踏んで転がして止めてください。(ソフトブレーキ)

路面状況に注意を

冬道では、雪や氷がなくても日陰や橋の上、トンネルの前後が凍結していることがよくあります。また、特に夜間や早朝の気温が低いときは路面が黒く見えても凍結している(ブラックアイスバーン)ことがありますので、十分注意をしてください。

吹雪編

●ライト点灯、スピードダウン、車間距離!



相手に自分の存在を知らせることが大事。ライトをつけましょう。前方の車が急に止まるかもしれません。車間距離を十分とってスピードダウン。

●大型車の雪煙に注意!



トラックなどの大型車が巻き上げる雪煙で視界が悪くなります。すれ違う時や追い越される時は、ワイパーを早めに作動し、減速を。

●車に雪が付いたら、安全な所に止まって落とす。



ヘッドライトやテールランプについた雪で、あなたの車が相手から見づらくなります。また、ワイパーに付いた雪で拭きが悪くなります。道路から離れた安全な所で雪を落としましょう。

四輪駆動車だからといって過信しない

4WD車は発進や走行の安全性では2WDに比べ有利ですが、車の重量が重いため過信は禁物です。カーブや交差点の手前では十分にスピードを落として走行してください。



2 冬道運転の心得

●冬道運転の必需品

冬道を運転するための必需品(スコップ、スノーヘルパー、牽引ロープ、長靴、防寒服、手袋、毛布等)を車に準備しましょう。



▲冬道運転の必需品

●出発前

事前に道路・気象情報を収集し、ゆとりある運転計画をたてましょう。

飲み物や非常食等を用意するとともに、誰かに行き先を伝えておきましょう。

吹雪に巻き込まれても対応できるように、十分に燃料があるのを確認しましょう。



▲国道・道道の通行止め情報 (北海道開発局)

URL <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>

●走行中

「道の駅」やラジオ等で、道路・気象情報を随時収集しましょう。また、吹雪が激しいときは、「道の駅」やパーキングエリア等で休憩し、無理のない運転を心がけましょう。

●もしも吹雪で動けなくなったら・・・

視界が悪いため、不用意に車から出ると後続車にはねられたり、動けなくなった車と後続車に挟まることがあります。外に出る際には周囲に気を配りましょう。

マフラーが埋まった状態ではエンジンをつけてはいけません。

マフラーが雪に埋まると車内に排気ガスが逆流し非常に危険です。マフラー付近を定期的に除雪し、換気を十分に行いましょう。



▲「北の道ナビ 峠情報」とライブカメラ画像 (国体資料・北海道開発局)

吹雪で周りが全く見えないときは、車から離れないようにしましょう。

車から離れる際には、除雪や救助活動の妨げにならないよう、連絡先の書いた紙を車内におき、車の鍵を付けておきましょう。



▲マフラー付近に注意!

避難時の連絡先

※車から離れる際には、下記に連絡先を記入して、この用紙を車内に置いてください。

電話番号

氏名

住所